

4 マガン

(カモ目)

兵庫県ランク: C

Anser albifrons

繁殖個体群:無 越冬個体群:C 通過個体群:C

◎天然記念物

環境省ランク: NT

種の概要

シベリアからアラスカ、カナダ中北部、グリーンランド西部などの北極ツンドラで繁殖する。繁殖後はヨーロッパ中部からカスピ海南部、中国、朝鮮半島、日本、北アメリカ南部などに渡り、越冬する。日本には秋に渡来し、主に本州、四国、九州で越冬する。宮城県伊豆沼や石川県片野鴨池などが越冬地としてよく知られている。湿原、湖沼、河川、水田、干潟などに生息し、植物の葉や根茎、田の落ちモミなどを採食する。



写真提供：北野光良

(性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、佐渡、舩倉島、隠岐、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、伊豆諸島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★明石市、★西宮市、洲本市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、宝塚市、小野市、★加西市、養父市、加東市、★たつの市、★稲美町、福崎町、香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ 特殊 ら休 息環 境・	局 地的 繁殖	希 少
○	○	○				○			○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に9-3月に生息する。かつては小野市男池や伊丹市昆陽池で50-60羽の群れが毎年越冬していたが、1960年代に急減し、その後の記録は極めて少なかった。しかし、最近は数十羽の群れが、ほぼ毎年、北部の但馬地域の円山川流域を中心に渡来し、県南部にも少数が時々渡来するようになっている。

保護上の留意点

広い採食場所とねぐらの保全が重要。そのために稲刈り後の水田の一部を冬季そのまま残し、ねぐらとなる池や河川には人が入れないように立ち入りを制限することが必要。